

令和2年度事業報告

令和2年4月1日～令和3年3月31日

1. 概要

新型コロナウイルスの拡大により緊急事態宣言が二度発令され、就業先への影響は多大なるものでした。公共事業では施設の閉鎖や就業時間が短縮になり、民間事業においては就業日の減少や就業者数の調整など様々な影響を受けました。このような状況下で、会員の就業意欲も減退するなど就業状況が変貌した1年でした。

幸いにして新型コロナウイルスに感染した会員の報告はありませんでしたので、会員一人ひとりが感染防止策を徹底し「出来る限りのことはやったと実感できる1年だった」と振り返ることができた年でした。

また、全国シルバー人材センター事業協会の「第2次会員100万人達成計画」の推進要請に応じて、今年度も会員数の増強に傾注した一年でもありました。

目標数をわずかに上回ることができたことで、入間市内の高齢者の就業意欲やシルバー人材センターそのものに期待が寄せられていることを実感することができました。

しかし、設立40周年記念の年として計画していた事業はすべて中止になり、普及啓発活動として親睦交流旅行、文化祭やウォーキング大会など主だった行事も残念ながら中止が相次ぎました。そのような中、事業実績や委員会などの取り組みや運営状況は次の通りとなりましたのでご報告いたします。

事業実績（受託事業＋独自事業＋指定管理事業＋労働者派遣事業）

	令和元年度 (実績)	令和2年度		予算比	前年比
		予算	実績		
事業収入	682,170千円	693,000千円	628,253千円	90.6%	92.1%
会員数 (年度末)	1,357人	1,430人	1,438人	100.5%	106.0%
就業延人員 (月平均)	12,582人	13,800人	11,544人	83.7%	91.8%

2. 就業機会拡大活動の推進

中期基本計画によると令和2年度の事業目標は、693,000千円でしたが、新型コロナウイルスの影響により実績は低迷し、628,253千円となりました。予算に対しては9.4%（64,747千円減）、前年比は7.9%（53,917千円減）と未達成でした。

就業先のご理解や会員の意欲により最小限の減少にとどまった結果でした。

今後はさらにアフターコロナとして、発注者と会員の価値観を見出しながら運営していくことで、今後の就業機会拡大の推進に繋げてまいります。

3. 新入会員募集活動

コロナ禍で、毎週の入会説明会や半期に1度の出張入会説明会を開催することについて判断に迷った時期もありましたが、感染予防対策を講じソーシャルディスタンスを守りながら積極的に開催しました。さらに委員会力を結集し市内各所へのポスター掲示や各家庭へのポステイング及び新聞折込みチラシの配布活動等を実施し、会員増強に努めることができました。その結果、コロナ禍でありながら最終的に新規入会者は279名となり、会員数は前年比6%(81名増)を上回ることができました。

4. 安全・適正就業の推進

コロナ禍のため就業の安心と安全を守るための活動としての安全講習会やAED研修、適正就業研修会を実施することはできませんでした。代わりに就業先への安全巡回を重点に活動いたしました。安全巡回活動は、互いの感染予防に配慮しながら取り組み、国内で重篤事故の事例が多い植木作業や損害事故が多発している刈払機使用の点検に特化した巡回を実施しました。さらに「公用車使用規程」に沿った講習会や個人面談を実施し会員の安全運転遂行に寄与しました。また、広報誌を通じて高齢ドライバーへの注意喚起を促すことや、健康への意識を高めるための資料の配布やマスクの販売や無料配布をとおして、一人ひとりが「安心と安全を再認識して就業できる環境を整える」ことの呼びかけをしました。

5. 広報活動の活性化

広報誌「シルバーだより」を通じて、センターの活動状況や方針、情報の共有化を目的として活動しました。さらに昨年に引き続き冊子の読み易さを追求した改良も試みました。また、会員への連絡・情報発信として、「シルバーだより」の中間点である「会員の皆様へお知らせ版」も春と秋に発行し、事務局による会員間の連帯意識を高める情報発信をしまりました。

そして、「ホームページ」の充実を図り、タイムリーな情報を発信するために広報委員会の所掌事項から外し、事務局が管理することとなりました。またスマートフォン対応に改良したことで、「就業先情報」などの見易さを追求することができました。

6. イベント班の発足

独自事業の拡大及び会員の交流を深め、普及啓発と地域社会への貢献事業として活動することを目的としたイベント班が発足しました。センターの戦力として本格的な活動は今秋からとなりますが、現在10名の会員が活動を開始し期待溢れる職群班として発足しました。

7. 設立40周年記念の年

コロナ禍により遅れていた「設立40周年記念誌編集実行委員会」が昨年11月から総務委員会の主導で発足しました。「多くの会員が目で楽しむことができる」記念誌として令和3年度秋の発行を目指して作成に取り組んでいます。

また、令和2年度の記念式典、講演・音楽鑑賞会の開催に、引き続き各委員会の委員を中心に「多くの会員に楽しんで貰える記念事業」として取り組んでいます。